

74新破天荒



令和四年度より
創刊
第2号

一学期中間考査の先に 将来の自分に求めるものは

最終学年も、あつという間に最初の一ヶ月が過ぎ
ていきました。

明後日からは四連休。いよいよ最後の総体に尽力
する部活動もあるでしょう。

想いと結果が一致することはなかなか厳しいのも
事実ですが、「後悔」や「本物の悔しさ」を実感する
ことができる大きな機会です。それをどう受け止め
ることができるか、跳ね返すことができるか。

目先の失敗

将来への糧・成果

本気で「思う」ことができる機会を、今まで同様、
「思う」だけで日々を過ごしていくか、「想い」の中
から、積み重ねられる「行動」を起こすきっかけと
することができるか。

悔いのない闘いをしてきてほしいものです。

学年の先生方より

前号でお伝えした通り、七十四回生学年団は二学
年時に引き続き同じメンバーで、皆さんと最後の
一年を共闘したいと思います。

四月十日、十一日の学年集会では、その学年団の
先生方から皆さんに向けて、思い思いのお話をいた
だきました。各々の個性を生かして発信された言葉
を、お話のあった順に伝えたいと思います。

二組担任 渡会雄士 先生

いよいよ勝負の年になりました。自分に強くある
ためにも、先生や科目を選んで授業中を過ごしたり
することがないように、やるべきことをきちんとや
り続けよう。

また、安心安全を一番に考えて行動し、学習環境
を作ってほしい。

(具体的な通学マナーを話してくれたにも関わらず、
翌週校内で指導するべきことが起こり残念でしたが)
自分のために失敗をしてほしい。ただし、同じ失敗
を繰り返さない。

一般的によく、受験は団体戦と言われるが孤独な
自分への努力の集合体が団体ということに当てはま
るのでは。

副担任 井上真梨奈 先生

自分の目標を積極的に言葉にしよう。

日本では古来から「言霊」という言葉がある。言
葉には不思議な力があって、言葉には魂が宿ってい
ると言われる。

なので、自分の思いを積極的に言葉にする一年に
してもらいたい。

一組担任 寺脇響彦 先生

どんな受験機会も得られるように、評定平均を高
くする努力をすること。

自分の子どもの卒業式、卒園式、入園式に参列し
て、仕事として嫌というほど見てきた式も、立場を
変え参加してみると、こんなにも感じ方が違うこと
に触れて、皆さんにもいろんな体験をしてほしい。

自分の大切な将来のための進路なのだから。よく
分析し、判断し、より良い選択をして、努力を積み
重ねてくれることを期待する。

四組担任 名村香織 先生

好きなキキララとスヌーピーの話より。

「Peanuts」というのは、当時は「取るに
足らないもの」という意味であったが、今や世界的
に有名なものに。

Peanutsの登場人物のセリフから、皆さん
に印象に残っている二つの言葉を贈ります。

一つ目は「望めば 犬でも飛べるよ」。

二つ目は「誰も君のしていることが間違っている
とは言えないよ。自分らしくいなさい」

自分の進路に悩んだ時に、その悩みは取るに足ら
ないものでもなく、いましつかり考えなければなら
ない、人生の決断としてしなければならぬことを
先生方、お家の方、友達に大いに遠慮なく相談して
下さい。

いろんな考え方の一つとして捉えて、自分らしく
自分のための進路実現を目指しましょう。

三組担任 大谷睦美 先生

身体測定後の学年集会。そこで話すモチベーショ
ンが簡単に上がるわけではないですが、いつもの授業
のように例えば「ハッピーな食べ物について」を妄
想してみよう。そこに「少しアンハッピーな出来事」
を付け加えてみると、「幸せなこと」について考えて
いたのに、いろんなものが付け加わると幸せの感じ
方も曖昧になる。

一般に、モチベーションを上げる方法の一つに、
物事を可視化するといわれることがある。

いろいろグジャグジャになっているもの、例えば
みんなの進路への悩みの解決など。

人生なんてのもそんなもので、そういうときに、
「わからへん」と簡単に手を挙げてしまうのは大変
勿体ない。文章も可視化して分析していくと、まだ
まだ結構やれるよ。

可視化して目に見えたものから超えていこう。
頑張れ！七十四回生。

五組担任 井上三帆 先生

全ての先生方の話の中には、皆さんの未来の姿を
イメージしてお話をしてくださっていると思います。

皆さん、自分の一ヶ月後の姿を思い描いてみよう。
その上で一ヶ月後に、自分の描いた姿とその時の姿
を分析してみよう。自分が思った姿にはなっていな
いかもしいれないが、その時の姿は必ず今の自分より
成長をしているものです。それは、一日一日自分と
向かい合う日々になるからです。

また、皆さんのやりたい気持ちに添えていきたい。
学校という場所を大いに利用してもらえたらと思う。

場所、先生、友人。そんな自分の姿も思い描いて
みてくれる？私もそんなみんなと向かい合っている
姿を思い描いてこの一年過ごしていきますね。

離任された先生方より

四月十二日金曜日の午後からは、本年度離任された五人の先生方から、温かいお言葉を頂きました。各先生個性を大切にされて、皆さんに向けて大きなベクトルを向けて発信して下さいました。

学校長 駒田勝 先生

甲斐の虎と呼ばれた武田信玄の名言の一つに

「人は城 人は石垣 人は堀」

情けは味方 仇は敵なり」

という有名な言葉があります。

学校の最高の環境とは。優れた設備とか建物以上に、そこに集う人です。

皆さんにとって人との出会いこそが力です。更に、今年度は全学年が姫路南高校生として集う、最後の一年であり、姫路南高校百年という節目の年です。そういったことを大切にして、どうか頑張ってください。

松岡健治 先生

人は嘘をつくので嫌いです。騙すから。動物は好きだけど。(のつかみから話は始まりました)だから、今日はたくさん嘘をつきます。(と言いながら、生徒の心に響く話を続けてくれました)

長い時間、生活を送った西宮市にあるキツザニアを運営する会社の入社試験での話です。

一次試験でお茶碗の小豆移しをしました。移した数ではなく、渡される人に向けてのお茶碗の位置を見ていたというのは、後で分かった話です。

口をプラスに使えば叶うという漢字になる(のは本当だが、漢字の意味としては嘘)など、嘘ではなくユニークな創作話でした。

そんな中に、様々な経験の中で、いろんな適切な判断をする力をつけましょう。皆さんの武器である人の良さに付け込まれたり、騙されるのではなく、冷静に適切な判断ができる人になりましょう。

山口貴弘 先生

せえの!「行つたれ山口」の声から始まりました。

こんな場面で、どんな話をしようと考えるものですが、ある同僚の先生から「山口くんは話を考えるよりも、その時に感じたことを話す方がとても大事なことが伝わるよ」と言われたことを大切にして、今日は「オンリーワンとナンバーワン」の違いについてをテーマにして話します。

先生はナンバーワンが好きです。ナンバーワンは作り出すこと。一番目、ナンバーワンを成し遂げた人のことは忘れられないが、その人が起こしたブレイクスルーに乗っかって、結果を出した人のことは覚えきれないし、印象は薄い。オンリーワンは周囲が認めること。ナンバーワンがあつて基準ができることで、オンリーワンということの重要性が出てくると思います。

ナンバーワンを目指して、熱い気持ちを持って下さい。最後の最後まで自分を信じて!自分を信じていることができれば、周囲から応援してもらうことができる。目指せ!ナンバーワン!

押切孝雄 先生

転任校では三年生の担任を任せられました。七十四回生の皆さんとは同じ学年となります。お互いの頑張りをお互いにして一年を過ごそうと思います。

人生は長いとは思いますが、勝負する期間は限られているので、ここというタイミングを見落とさないようにしてほしい。好きなことであれば尚更そのタイミングを大事にしてギアをしっかりとあげてほしい。大学受験も、部活動もやりきれると思います。南高校で良かったと思える日々を過ごしてほしいと思います。

西村直也 先生

修学旅行を一緒に行った後、やれることはやったかと思いつつ、まだやれることがあったのかなと考えていた頃、廊下ですれ違った七十四回生から「一緒に来てくださってありがとうございました」という言葉をかけてもらったことが、とても嬉しかったです。この一年の受験勉強も頑張つてほしいと思います。

伝えたいことは「置かれた場所で咲きなさい」という高校時代の顧問の先生からの言葉です。不平不満を言う暇があつたら、与えられた場所で頑張つてほしいと思います。

お互いに頑張りましょう。

五月の手定

二 日(木)	尿検査② 防災訓練
三 日(金)	憲法記念日
四 日(土)	みどりの日
五 日(日)	こどもの日
六 日(月)	振替休日
九 日(木)	生徒会役員選挙
十四日(火)	教育相談
十五日(水)	PTA総会
十六日(木)	教育相談
二十一日(火)	中間調査一日目 二十四日まで
二十四日(金)	クリーンアップ作戦(調査後)
二十六日(土)	進研マーク模試一日目
二十七日(日)	進研マーク模試二日目 (夕方まで)
二十八日(火)	尿再検査①
三十日(木)	眼科検診(午前中) 内科検診(午後)

お母の手定

十九日(水) 二十日(木)は文化祭です。
詳細は、決まり次第連絡します。

球技大会

二年生の時には、半日間の球技大会を一度も体験することができませんでした。本年は時期が様変わりして、四月十九日に姫路南高校最後の球技大会を実施することができました。

集合のタイミングで、生徒会執行部主体で、腹の底から「頑張ろう!」を発声し、球技大会は始まりました。結果……。

皆さんの満面の笑顔

に数多く触れることができ嬉しかったです。一つの行事が終わる寂しさと共に、勝負の覚悟を膨らませていきましょう。

因みに、

サッカー

一位 三年五組 二位 三年四組

ドッジボール

一位 三年四組

バレーボール

一位 三年五組 二位 三年二組

となりました。



↑ サッカー決勝 3年生対決

← バレーボール決勝 こちらも3年対決

散歩道 74

クラスコード 5luczkw

Start 23 → 2022 last 36

2023 start 38 → Now 52

2ndGrade start 52

→ Now 58

ドッジボール3年生チーム



クラス団結の一日となりました。





今年の桜は

少し遅めではありましたが、やはり四季を感じる花ですね。何か良いことが起こりそうです。

今月の 。。。。の勧め

二月最終号で、「失敗の感情で終わらない」勧めをしました。それは「失敗をしない」と言うことではないことは分かってもえたとと思います。

ただ、失敗体験というのとはとても勇気がいることで、「失敗するくらいなら行動をしない」となりがちです。

なので、「失敗しても良い」と思って行動するのはなく、自分のした行動を振り返る癖をつけてみませんか。

そこには、結構小さな失敗が紛れ込んでいます。それらは小さいだけでなく、修正が容易で達成感を得やすく、成功体験で終わることができます。

「得る」ためには、「失う」ことが必要なことは、誰もが分かっているけれども、

「分かっている」

「思うのだが」

を、構えずにクリアしていくには、「より自然に」近いことが大切です。ならば、自分のした行動の中にあるものを利用することは、「失敗」というハードルを低くできると思います。

一月	「無駄」	一月	「無」
二月	「諦めない」	二月	「こだわり」
三月	「捨てる」	三月	「信念」
四月	「チャレンジ」	四月	「探る」
五月	「さかのぼる」	五月	「自制する」
六月	「テレビ」	六月	「勇気を探す」
七月	「大空間」	七月	「悩むこと」
八月	「無」	八月	「本気でぶつかること」
九月	「この世界の片隅を大切に」	九月	「この世界の片隅を大切に」
十月	「主体性」	十月	「主観性」
十一月	「客観性」	十一月	「ルーティーン」
十二月	「スマホとの向き合い方」	十二月	「詩に触れる」
1 学期末	「破壊する」	1 学期末	「想像を再生する」
2 学期末	「夢を目に触れるようにする」	2 学期末	「アナログ」
1 月	「きっかけ」	1 月	「一度諦める」
2 月	「失敗の感情で終わらない」	2 月	「失敗の感情で終わらない」
3 月		3 月	
4 月		4 月	
5 月		5 月	
1 年		1 年	
2 年		2 年	
3 年		3 年	
4 年		4 年	
5 年		5 年	

ゴールデンウィークの その先には

大切な中間考査です。専門学校、推薦入試に重点を置く人にとっては、一学期中間考査・期末考査の結果が三学年の成績となることは、四月十日の中で話されたことを覚えておいてください。

いたずらに気持ちだけ焦って、考査で不適切な行為をしてしまうことが、過去にも「なかった」とは言えませんが、その先にあるのは「自分が望む受験機会」を失ってしまうこととなります。

三年生なので、考査直前から「スイッチオン」ということはないと思います。

地道な積み重ね

をしつかり持続してください。

成功に近道なし

さあ、自分の夢のために第一歩を踏み出して、自分が定めた努力を積み重ねましょう。